堅牢タブレット

LZ-WF08/W3 シリーズ
ユーザーズマニュアル

Logitec

目次

取り扱い上のご注意 …… 3
注意事項 …… 11
1. 本体と付属品の確認 …… 16
2. 各部の名称 …… 17
3. 充電仕様 …… 20
4. 電源の ON ／ OFF、再起動 …… 25
5. BIOS 設定画面について …… 29
6. 出荷時の状態に戻す（リカバリー） …… 27
7. その他の機能・設定 …… 33
8. トラブルシューティング …… 44

■本書をお読みいただく前に

本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。
必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。

- 本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管してください。
- 本書の内容の一部又は全部を無断で複製･転載することを禁止させていただきます。
- 本書の内容に関しては万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、当社テクニカル サポートまでご連絡願います。
- 本書に記載されている機種名やソフトウェアのバージョンは本書作成時の情報です。最新情報については、当社テクニカルサポートへお問い合わせください。
- 本書に記載の内容は、改良などのために予告なく変更する場合があります。
- 本書に基づいて運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、当社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で指定された設定以外にした場合、動作保証外となる場合があります。
- 本書及びリカバリーディスクは、日本語表示を基本にしています。
  Sorry. A RecoveryDisc and this reference manual are available in Japanese only.

■取扱い上のご注意

●本製品を正しく安全に使用するために

本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。　必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。

●表示について

この「取扱い上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



危険　◀この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる可能性がある項目です。



警告　◀この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



注意　◀この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



◀三角のマークは、何かに注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



◀丸に斜線のマークは、何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。



◀塗りつぶしの丸のマークは、何かの行為を行なわなければならないことを意味します。丸の中には行なわなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源ケーブルをコンセントから抜かなければならないことを意味します。

危険



●バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。発熱・発火・破裂・爆発の原因となります。



●バッテリーに対してくぎなど尖ったもので刺さないでください。また、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。液漏れ・発熱・発火・破裂の原因となります。



●バッテリーを火のそばや炎天下など、対応温度・環境以外で高温の場所での充電・使用・放置をしないでください。液漏れ・発熱・発火・破裂の原因となります。

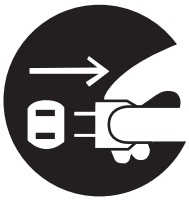


●指定外のバッテリーパックを使用しないでください。製品指定外のバッテリーパックを使用しますと液漏れ・発熱・発火・破裂の原因となります。



●バッテリーのプラス (+) とマイナス (-) を金属などで接触させないでください。
濡らしたり、ネックレス・ヘアピンなどの金属といっしょに持ち運んだり保管するとバッテリーの端子が接触し、感電・液漏れ・発熱・発火・破裂の原因となります。

警告



●本製品から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて当社テクニカルサポートにご相談ください。



●本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水や油などの液体が入らないように注意してください。故障・感電・火災の原因となります。
※万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り当社テクニカルサポートにご相談ください。



●本体の上に重量物を置かないでください。故障の原因となります。



●高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所、ほこりの多い場所での使用や保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって感電・故障・火災の原因となります。



●本製品には正弦波以外で出力される電源（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源など）に接続しないでください。火災の原因となります。



●電源ケーブル・AC アダプター・充電器は必ず製品仕様に合わせた正しい電源電圧のコンセントに接続してください。火災・故障の原因となります。

警告



●電源ケーブル・AC アダプター・充電器は破損しないように十分ご注意いただき、コネクターはしっかりと差し込んで使用してください。ケーブル部分を持って抜き差しすると、断線や被覆が破れて感電や火災の原因となります。



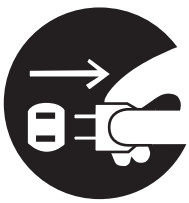
●電源ケーブル・AC アダプター・充電器のケーブルは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねたり、ケーブルの上に物を乗せた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



●電源ケーブル・AC アダプター・充電器 は必ず製品添付か当社指定の物をご使用ください。また、本製品に付属の電源ケーブル・AC アダプター・充電器を他の製品に使用しないでください。火災や故障の原因となる可能性があります。



●電源ケーブル・AC アダプター・充電器はなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災や感電の原因となります。



●本体を長期間使用しない場合は、電源ケーブル・AC アダプター・充電器のプラグをコンセントから抜いておいてください。火災や故障の原因となります。



●各コネクターとの接続を間違わないようご注意ください。誤ったコネクターや向きを間違えて無理に差し込みますと破損や故障の原因となります。



●本製品は静電気に影響を受ける部品が搭載されています。コネクターの接点部分やポートなどに素手で触れないでください。故障や誤動作の原因となります。

警告



●本製品を引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。火災の原因となります。



●本製品を油煙や腐食性ガスが発生する環境で使用・保管しないでください。故障の原因となります。



●本製品を高温または低温環境下で使用した後に触れる際には手袋などを使用して触れる様にしてください。けがややけどの原因となります。



●動作温度範囲内であっても、急激な温度変化にさらさないでください。故障の原因となります。



●梱包に使用している袋類は、お子様の手の届く所に置かないでください。口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。



●本製品はアース付きのコンセントに接続してください。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電の原因となります。アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、お近くの電気店もしくは電気工事士の資格をもつ人に、アースネジ付コンセントの取り付けについてご相談ください。電源ケーブルを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。

警告



●本体の通風孔をふさがないでください。過熱による火災や故障の原因となります。



●本製品の使用中や使用直後は本体の高温部や電源ケーブル・AC アダプター・充電器に長時間触れないでください。やけどや低温やけどの原因となります。



●本製品は絶対に分解・改造しないでください。感電や故障の原因となります。分解の必要が生じた場合は当社テクニカルサポートにご相談ください。



●液晶ディスプレイが割れた場合、画面や破片を素手で触らないでください。けがの原因となります。万が一手に液体が付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。目に入った場合は大量の流水で洗浄し、医師に相談してください。また、液晶ディスプレイが割れた状態で使い続けないでください。

注意

●本体の強制電源断 (電源スイッチの長押し・リセットボタンの使用・電源タップによる電源 OFF 等) は、本体がフリーズして反応がない場合にのみ使用ください。むやみに使用すると動作不良やデータ消失の原因となります。また、この操作で日付・時刻がずれる場合があります。

●本製品を継続してご使用になる場合には、定期的なデータのバックアップを行ってください。

●本体の電源を一度 OFF(切) にした時は 30 秒以上経過してから ON(入) にしてください。誤動作などの原因となります。

●本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。(本体内に垂れ落ちるほど含ませないよう気をつけてください) 揮発性の薬品 (ベンジン・シンナーなど) を用いますと、変形や変色の原因となります。

●本製品には、有寿命品が含まれております。液晶パネル・バックライト・タッチパネル・コンデンサ・AC アダプター等の経時による劣化 (輝度の変化・色の変化・輝度と色の均一性の変化・焼き付き・欠点の増加・感度低下・機能低下など) 生じた場合は、保証期間でも有償修理となります。

●本製品には、バッテリーなど消耗品が含まれています。消耗品は使用環境・使用時間・時間の経過に伴って劣化・消耗し、動作が不安定になる原因となります。本製品を安定してお使い続けていただくためには、一定の期間で消耗品の交換をお客様にておこなってください。なお、交換した消耗品を廃棄する際は、地域の法令や条例に従って処分してください。

⚠ 注意



●本製品が振動により落下することでけがの原因となります。本製品を振動の加わる場所、または加わりやすい場所でご使用の際には、十分にご注意ください



●本製品をラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くに強い電磁波を発生する装置がありますと本製品が誤動作する可能性があります。必ず離してご使用ください。



●本製品にはバッテリー (二次電池) が搭載されています。バッテリーは電池の特性により、劣化に伴って膨張する事があります。膨張したバッテリーをそのまま利用すると本体の故障の原因となります。速やかに新しいバッテリーパックに交換するか、お客様にてバッテリー交換ができない機種の場合は当社テクニカルサポートまでバッテリー交換の依頼を行ってください。なお、バッテリーは消耗品ですので、交換は保証期間内でも有償となります。



●本製品を使用して、サウンドを再生する場合には、必ず最初に音量を最小にして、適切なレベルまで少しずつ上げてください。これを行わないと機器や聴覚に障害をもたらす原因となります。特にヘッドホンを使用する場合は、必ず最初にヘッドホンを耳から離した状態で音量を確認してください。

■製品を正しく使用するために

●本製品の仕様、デザイン等は、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。
●本製品を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、当社ではいかなる責任も負いかねます。あらかじめご了承ください。
●本製品に保存したデータについては、理由を問わず一切の保証はいたしかねます。誤操作、落雷などの自然災害、経年劣化や不慮の事故等による製品故障に備え、重要なデータはあらかじめバックアップ（データの複製）をお願いします。
●本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、当社ではいかなる責任も負いかねます。
●本製品の仕様は、搭載されたハードウェア・ソフトウェアの機能が全て使用できる事を保証するものではありません。また、本製品に接続した全ての機器の動作を保証するものではありません。
●本製品は日本国内仕様です。海外での使用に関して当社ではいかなる責任も負いかねます。また当社では海外使用に関するサービス･サポートは一切行っておりません。
●通風孔や、各コネクタのチリ・ホコリ等は定期的に取り除いてください。
●本製品の寿命は 1 日 8 時間、1 週間 5 日稼働で約 5 年です。

■お問い合わせ窓口

技術的なお問い合わせ (テクニカルサポート)、修理受付窓口に関しては、製品添付の保証書に記載されています。

■保証と修理について

●本製品には保証書が添付されています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。
●保証期間は保証書に記載されています。ご購入日より有効です。
●修理を依頼される場合、修理品については、当社修理受付窓口にお送りいただくかお求めいただいた販売店へご相談ください。故障かどうか判断がつかない場合は、当社テクニカルサポートにお問い合わせください。
●保証期間中の修理につきましては、保証書に記載の規定に従い修理いたします。保証期間終了後の修理につきましては、お客様のご要望により有償修理しています。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品確保等の問題から修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
●補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）の最低保有期間は、製品出荷後 5 年間です。（保有期間内でも、互換パーツでの修理や修理に代わって同等品へ交換する場合があります。）

■本製品使用上のご注意

●高温環境で継続的に使用すると製品寿命が短くなります。

●本製品は経年劣化や設置場所により、色落ち･変色等が発生する可能性がありますが、製品の使用に影響ありません。

●本製品の特殊環境性能 (耐衝撃落下性能、耐振動性能、防塵防滴性能等）は製品の無破損、無故障を保証するものではありません。

●本製品は以下の温度条件下でご使用ください。

動作環境温度：(バッテリー駆動時)：-10℃～ 50℃
（湿度　20%～ 90%　ただし結露しないこと）
動作環境温度：(充電時)：0℃～ 40℃
（湿度　20%～ 90%　ただし結露しないこと）
保存環境温度：-20℃～ 60℃
（湿度　20%～ 90%　ただし結露しないこと）

●オプション品の取付や本体の固定でネジを使用する際は、マニュアルに記載のネジ径で、ネジ穴深さを超えない長さのネジを使用してください。ネジ穴深さを超えるネジを使用するとネジが本体内に突き抜け、破損する可能性があります。十分にご注意ください。

●オプション品の取付や本体の固定でネジを使用する際は、マニュアルに記載の推奨トルク値で締め付けてください。締付トルクが弱い場合は本体の脱落の可能性があります。また、締付トルクが強すぎる場合は本体を破損する可能性があります。十分にご注意ください。

●液晶ディスプレイは、膨大な数の薄膜トランジスタで構成されています。画面上で少数のドットの欠落、変色、発光が見られる事もありますが、これは、液晶技術に起因するもので、製品自体の欠陥によるものではありません。

●本製品の液晶ディスプレイには極力直射日光が当たらない様にご注意ください。液晶画面に強い紫外線が長期間照射されると液晶画面に変質が発生する可能性があります。

●本製品を消毒・清掃するには以下の薬剤を柔らかい布にしみこませ、本体を拭う様にして消毒してください。また、薬剤の使用に関しては、当該薬剤の使用用途・注意事項をご確認のうえ、ご使用ください。
・イソプロピルアルコール（70%）
・エタノール（75%）

■バッテリーに関するご注意

●バッテリーの劣化に関して

バッテリーは消耗品で、充放電を繰り返すことや、保管方法により徐々に劣化し、性能が低下していきます。また、バッテリーの劣化に伴い、バッテリーが膨張することがあります。これはリチウムイオンバッテリーの特性であり、安全上問題はありませんが、内部機器を圧迫し、故障の原因となります。
このため、バッテリー駆動時間が極端に短くなった時や、バッテリーが膨張している場合は、バッテリーの寿命が近づいておりますので、お早めに 当社テクニカルサポートにご相談ください。

以下の様な運用はバッテリーの劣化を加速させることにより、寿命が低下する原因となりますので、ご注意ください。

・充電しながらの長時間の使用
・AC アダプタからの電源供給を受けている状態での長時間の使用 (電源 ON 状態)
・高温環境下での充電、継続的な使用
・満充電状態での長期保管
・バッテリー残量が 0% の状態での長期保管

●バッテリー駆動時間に関して

・バッテリー駆動時間は、動作環境、液晶の輝度、システム設定により変動します。
バッテリー駆動時間測定環境については、次の Web ページをご覧ください。
https://pc.logitec.co.jp/qa/qa011.html
・低温環境下での使用はバッテリー駆動時間が短くなったり、起動に時間がかかることがありますので、ご注意ください。
・バッテリーが劣化することで、バッテリー駆動時間が短くなります。

●バッテリー充電時間に関して

・バッテリー充電時間は、動作環境、システム設定により変動します。 また、完全放電したバッテリーを充電すると時間がかかる場合があります。
・バッテリーを充電する場合は添付若しくは指定の仕様の AC アダプターをご使用ください。また、安定して充電できるかなど、事前に動作確認することをお勧めします。

●バッテリーが完全放電した場合の対処について

・長期間バッテリーを放置した場合、本体の待機電源に依る放電やバッテリー自体の自然放電により、完全放電状態になってしまうことがあります。
・完全放電したバッテリーを再充電する際、AC アダプター / 充電器を接続しても充電ランプが点灯しないことが有ります。その場合、数十分～数時間充電を続けた後に AC アダプター / 充電器を抜き差しすると充電ランプが点灯します。

●バッテリーの保管に関して

・充電している状態のままで保管・放置しないでください。
・本製品にバッテリーを装着している場合は 2 ヶ月に 1 度、バッテリーパックが着脱可能なモデルの場合、取り外した状態では 6 ヶ月に 1 度の充電を行ってください。(それぞれ、満充電状態の場合)

■電波に関する注意事項

本製品で使用している周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、当社テクニカルサポートまでご連絡いただき、混乱回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。

その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事態が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは当社テクニカルサポートまでお問い合わせください。
法令により、無線 LAN の 5GHz 帯の 5.3GHz 帯、及び 6GHz 帯を屋外で使用することは禁止されています。5.2GHz 帯は条件付で屋外使用が可能です。

■電波障害自主規制について（VCCI- クラス A）

この装置は、クラスＡ機器です。
この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引きおこすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A

■ USB 5Gbps(USB3.2 Gen1) 規格以上の USB デバイスを使用時のご注意と対策

本製品に USB 5Gbps（USB3.2 Gen1）規格以上の USB デバイスを使用した場合、電磁波の干渉により無線 LAN/Bluetooth など 2.4GHz 帯無線を使用するデバイスとの通信に影響が出る場合があります。

【対象デバイス】
- ・USB 5Gbps（USB3.2 Gen1）規格以上のポートで接続する USB 5Gbps（USB3.2 Gen1）転送に対応した同規格の USB 機器すべて
- ・無線 LAN(IEEE802.11b/g/n/ax)、および Bluetooth を含む 2.4GHz 無線通信を行う機器全て

【症状：例】
- ・通信可能距離が短い／不安定になる
- ・通信速度が遅い
- ・通信相手を認識しない／接続が切れる

【対策】
- ・5GHz の無線 LAN を使用する （無線 LAN)
- ・別の USB ポートに接続する (USB 機器)
- ・USB 機器の位置を変更する (USB 機器)

※ USB 5Gbps(USB3.2 Gen1) デバイスは、USB3.0/USB3.1 Gen1 等と表記されている場合があります。

■廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意

本製品を廃棄等される際には、以下の事項にご注意ください。

●本製品を廃棄する際、内蔵ストレージに記録されたお客様のデータが再利用され、重要なデータが読みとられ、予期しない用途に使用される恐れがあります。

●内蔵ストレージに記録されたデータは、「削除」や「フォーマット」を行っただけではデータが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアなどを使うことにより、消したはずのデータが再生されることがあります。

●本製品に記録されたソフトウェアを消去することなく本製品を譲渡しますと、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますのでご注意ください。

これらより、内蔵ストレージ上のデータが第三者に流出することがないよう廃棄時には全データの消去の対策をお願いいたします。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはデータ消去サービス（共に有償）を利用するか、搭載された記憶装置を物理的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

マニュアル中の表示について

本製品を使用するにあたり役に立つ情報の提供や、ハードウェアの破損、故障の可能性の警告のため、次の「メモ」、「重要」、「注意」の 3 つの記載が本マニュアルでは使用されています。

メモ
役に立つ情報を記載しています。

重要
知っておいていただきたい重要な情報を記載しています。

注意
ハードウェアの破損、故障の可能性があることや、問題を回避する方法を説明しています。

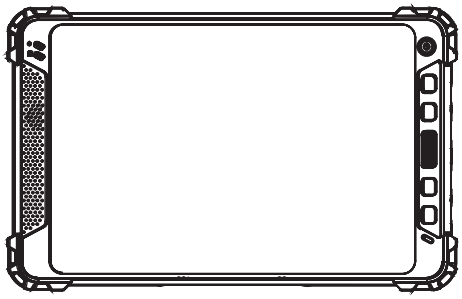
メモ
本製品でタッチパネル可能な操作は USB マウスでも操作可能です。マウスによる操作の場合、操作内容の「タップ」は「クリック」、「ダブルタップ」は「ダブルクリック」と置き換えてお読みください。

1. 本体と付属品の確認

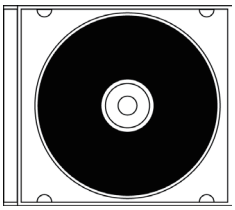
本体と標準付属品が揃っていることを確認してください。
万一、足りないものがあったり、破損しているものがあった場合は、販売店または当社テクニカルサポートまでご連絡ください。

本体と標準付属品一覧

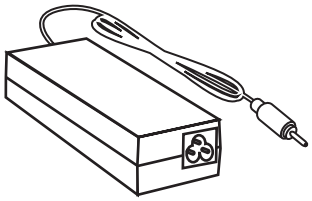
●本体



●リカバリーディスク



● AC アダプター



● AC ケーブル



●アクセサリーネジ



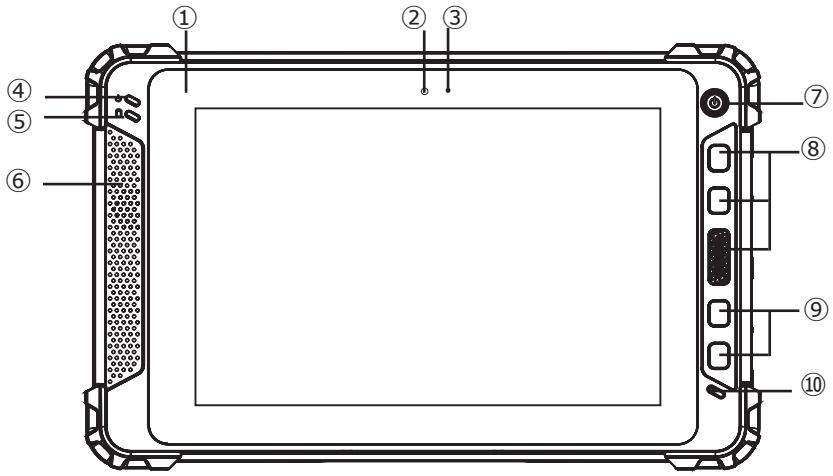
●保証書

メモ

Type-C AC アダプターを使用する場合は、商用電源に接続する USB PD 正規認証品の AC アダプター (20V 出力可能な 45W 以上の製品) をご使用ください。

2. 各部の名称

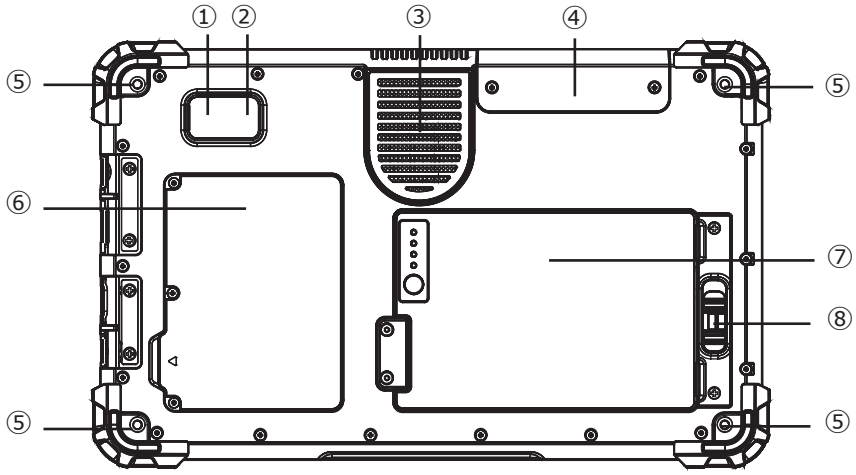
前面



番号	名前	説明
①	照度センサー	周辺の明るさを検知するセンサーです。
②	フロントカメラ	500 万画素のカメラです。
③	フロントカメラランプ	フロントカメラの起動状態を表示します。 白：フロントカメラ起動中 消灯：フロントカメラ停止中
④	電源ランプ	電源の状態をランプで表示します。 緑：電源オン　　緑点滅：スリープ 消灯：休止状態、電源オフ
⑤	充電ランプ	メインバッテリへの充電状態を表示します。 赤：充電中　　緑：充電完了 赤点滅：充電制限中 * またはバッテリー容量 10% 以下 消灯：AC アダプター未接続
⑥	スピーカー	本機の再生音を出力します。
⑦	電源ボタン	本体の電源をオン / オフします。
⑧	ファンクションボタン (F1/F2/FN)	「Logitec ユーティリティ」ソフトで機能を変更できる ファンクションキーです。上から、F1、F2、FN です。
⑨	ボリュームボタン (+/-)	システムの音量を制御します。「Logitec ユーティリティ」 ソフトで機能を変更することも可能です
⑩	マイク	内蔵のマイクロフォンです

* 仕様温度を超える低温、高温時にはバッテリー保護の為充電機能を制限することがあります。

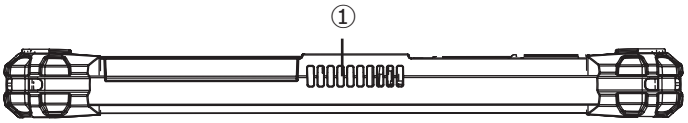
背面



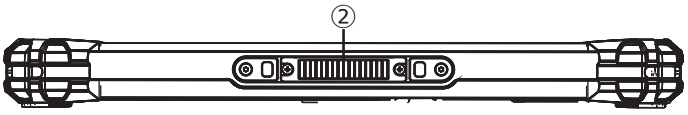
番号	名前	説明
①	リアカメラ	1290 万画素のオートフォーカス機能付きカメラです。
②	カメラライト	カメラ用のライトです。
③	冷却ファン	内部冷却のファンです。動作中は塞がないでください。
④	拡張オプション取付け位置	オプション品の取り付け位置です。
⑤	アクセサリーネジ用ネジ穴	本製品付属のアクセサリーネジを取付ける際に使用します。
⑥	サービスドア	内部に microSD スロット、SIM カードスロットが格納されています。
⑦	バッテリーパック	ホットスワップで交換可能なバッテリーです
⑧	バッテリ―リリーススライダー	バッテリーを固定するバネ式のスライダーです。中央にはスライダーを固定するロックラッチがあります。

天面 / 底面

天面



底面



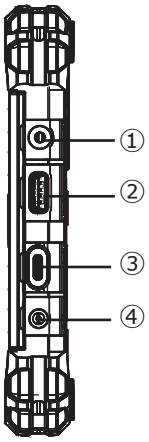
番号	名前	説明
①	通気孔	内部冷却の通気孔です。動作中は塞がないでください。
②	ドッキングコネクター	デスクトップクレードルと接続するためのコネクターです。

側面

左側面



右側面



番号	名前	説明
①	ヘッドセットジャック	ヘッドホンまたは、ヘッドセットを接続できる 4 極ポートです。マイクは 3.5mm 4 極ヘッドセットのみサポートされています。
②	USB3.2Gen2(10Gbps) Type-A ポート	USB3.2Gen2(10Gbps) 規格に対応した USB ポートです。
③	USB3.2Gen2(10Gbps) Type-C ポート	USB3.2Gen2(10Gbps) 規格に対応した USB ポートです。USB PD(受電) 対応　DP Alt Mode 対応
④	電源コネクタ (DC)	付属の AC アダプターを接続します。

3. 充電仕様

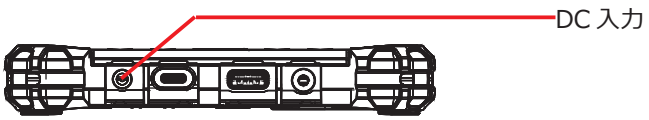
本製品は内蔵のバッテリー、および AC アダプターにより動作します。
なお、本製品を初めて使用する場合は、付属の AC アダプターを使用して操作をすることを推奨します。

注意

- AC アダプターなどの給電機器は、添付の AC アダプターか、最大出力が 45W 以上の 20V 出力が可能な USB PD(Power delivery) 対応の正規認証品の製品を使用してください。最大出力が 45W 未満の給電機器では充電できません。
- 給電機器は、必ず商用電源に接続して使用してください。
- USB PD タイプの給電機器は、事前に動作確認することをお勧めします。
- 長期間使用せずに保管を行う場合は、2 ヶ月に 1 度バッテリーパックの充電を行ってください。充電を行わない場合、故障の原因になります

本製品に AC アダプターを接続するには次の手順で行います。

1. 本製品の右側面にあるカバーを開ける
2. AC アダプターのコネクターを、本製品の DC 入力に差し込む



3. AC ケーブルを AC アダプターに接続してから、AC アダプターをコンセントに差し込む
   AC アダプターをコンセントに差し込むと、バッテリーの充電を開始します。

メモ

バッテリー残量が満充電に近い場合は、バッテリーの充電が始まらない場合があります。これは バッテリーの劣化を抑制するための仕様です。

内蔵のバッテリーでの駆動時間、およびフル充電までの時間については、以下の表をご覧ください。

型番	バッテリー駆動時間※ 1	フル充電までの時間※ 2
LZ-WF08 シリーズ	<バッテリケアモード無効時> JEITA3.0: 約 4.5 時間 (動画再生時) 約 10.5 時間 (アイドル時) JEITA2.0: 約 8.5 時間 <バッテリケアモード 80% 時 (出荷時設定) > JEITA3.0: 約 3.5 時間 (動画再生時) 約 9.0 時間 (アイドル時) JEITA2.0: 約 7.0 時間	約 3.5 時間

※ 1 JEITA バッテリー動作時間測定法（Ver.3.0,Ver.2.0）に基づく。
バッテリー駆動時間は、動作環境、液晶の輝度、システム設定により変動します。
バッテリ駆動時間測定環境については、次の Web ページをご覧ください。
https://pc.logitec.co.jp/qa/qa011.html
※ 2 バッテリーケアモード無効時。バッテリー充電時間は、動作環境、システム設定により変動します。
また、完全放電したバッテリーを充電すると時間がかかる場合があり ます。

メモ

低温環境使用時には、リチウムイオンバッテリーの特性上、バッテリーの容量が低下します。その場合、バッテリー稼働時間が短くなる可能性がありますのでご了承ください。
＊仕様温度を超える低温、高温時にはバッテリー保護の為充電機能を制限することがあります。

充電制限機能について

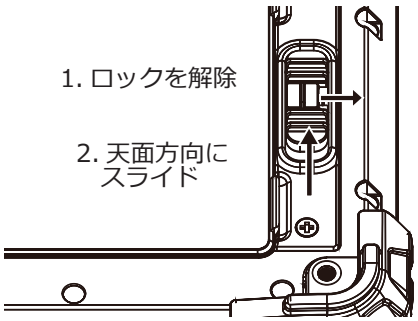
AC アダプター接続時、充電時動作環境温度（0℃～ 40℃）を超える環境で本製品を使用する場合、内蔵バッテリー保護のため、バッテリーへの充電を制限する「充電制限機能」が働くことがあります。充電制限中は、バッテリーランプが点滅 (緑色) し、バッテリーが充電されません。この状態で長時間使用を続けますと、バッテリーが放電を続け、バッテリー切れの状態になりますのでご注意ください。

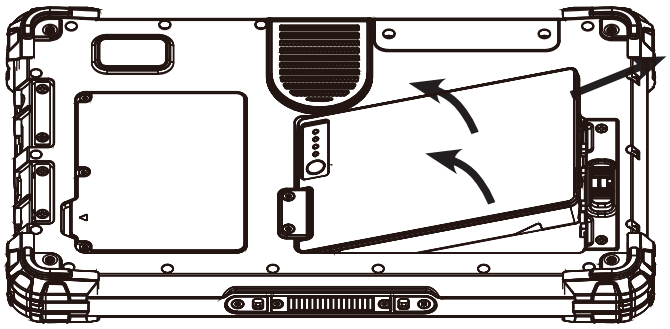
バッテリー交換 (ホットスワップ)

本機のバッテリーはホットスワップ (稼働状態での交換）が可能となっています。バッテリーが取り外されている間は本機に内蔵のホットスワップバッテリーが稼働しています。ホットスワップバッテリーの稼働時間は約 10 分ですので、素早く交換してください。

バッテリーの取外し

1. バッテリ―リリーススライダーのロックラッチを解除します。
2. バッテリーリリーススライダーを天面方向にスライドした状態でバッテリの爪を引き上げます。
3. バッテリーを取り外します





※バッテリーを取り外すと、自動的に液晶輝度が低下する場合がありますが、バッテリーパックを取り付ければ自動的に復帰します。

バッテリーの取付け

1. バッテリーのコネクタ部を取付け部に組み込みます
2. バッテリーをスライドさせてバッテリーを本機に装着します。
3. バッテリーリリーススライダーが底面方向に移動している事を確認します。
4. バッテリーリリーススライダーのロックラッチを施錠します

注意

- バッテリー交換は濡れた状態で行わないでください。本体の水分をふき取り、乾いた状態で行ってください。感電や故障の原因となります。
- ホットスワップによるバッテリー交換は 0 ～ 50℃の環境でのみ対応します。

ホットスワップバッテリ―について

本機には、起動状態でのバッテリー交換を可能にするためにホットスワップバッテリーが搭載されています。

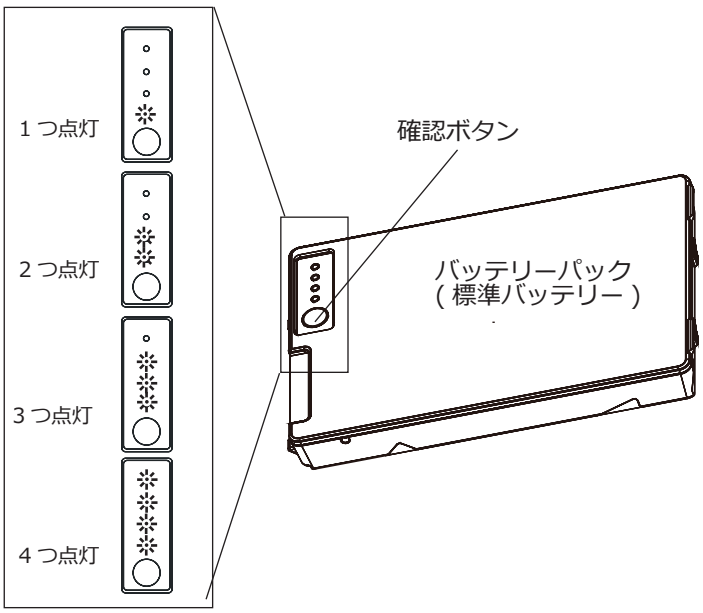
注意

- ホットスワップバッテリーは AC アダプターを接続しないと充電されません。ホットスワップバッテリー使用後は AC アダプターを 1 時間程度接続し、ホットスワップバッテリーを充電してください。

バッテリー残量ランプ

本機に搭載のバッテリーは、ボタンを押して点灯する LED の数によってバッテリー残量の目安を知ることができます。

バッテリー残量 (%)	LED 点灯数
100 ～ 75	4
75 ～ 50	3
50 ～ 25	2
25 ～ 5	1
5 以下	1(早い点滅)



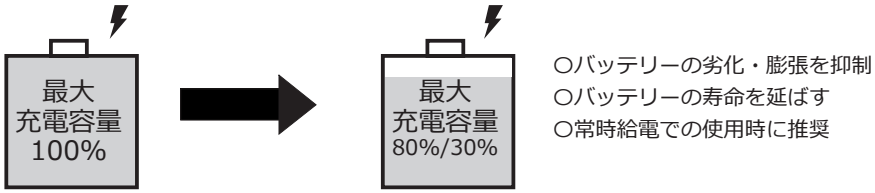
充電制限機能について

AC アダプター接続時、動作環境温度（0℃～ 40℃）を超える環境で本機を使用する場合、内蔵バッテリー保護のため、バッテリーへの充電を制限する「充電制限機能」が働くことがあります。充電制限中は、バッテリーランプが点滅 (緑色) し、バッテリーが充電されません。この状態で長時間使用を続けますと、バッテリーが放電を続け、バッテリー切れの状態になりますのでご注意ください。

バッテリー保護機能 (バッテリーケアモード)

ここでは、バッテリーケアモードの設定方法について説明します。バッテリーケアモードの設定は BIOS 設定画面での設定が必要になります。

■ バッテリーケアモードについて
バッテリーケアモードとは、タブレット起動中の最大充電容量を通常より低く設定する充電モードです。
この充電モードに設定することにより、通常モードより充電中のバッテリーの劣化を抑え、バッテリーの寿命を延ばすことができます。



バッテリー搭載のタブレット製品を AC アダプターから常時給電状態で連続使用しますと、バッテリーの劣化が早くなる場合があります。その場合、本案内のバッテリーケアモードを有効の状態で使用することをお薦めします。
※出荷状態では、バッテリーケアモードが有効 (最大充電量 80%) になっています。

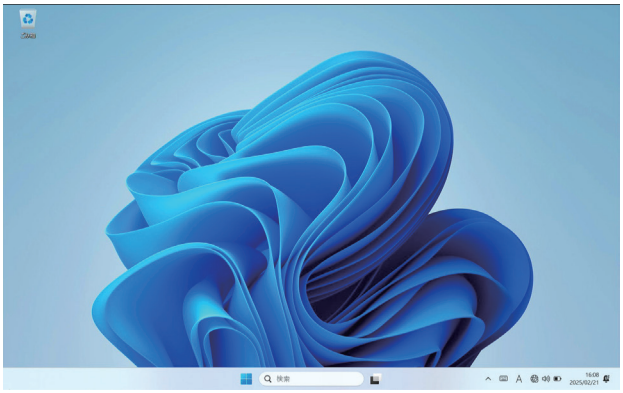
＜ BIOS 設定画面の設定項目と設定値＞

#	メニュー	詳細項目	設定項目	設定値	機能
1	Advanced	“Advanced” > “Oem Items” >	Battery Care Mode	Disabled	本機能を無効化
				80%	本機能を最大充電量 80% で有効化
				30%	本機能を最大充電量 30% で有効化

補足事項	バッテリーケアモードは製品本体に接続されているバッテリーパックを充電する際の機能となります。

4. 電源の ON ／ OFF、再起動

本製品は AC アダプターと接続し、バッテリーを充電することで動作します。本製品の電源の ON ／ OFF、再起動は次の手順で行います。
(デスクトップ画面の背景はモデルや設定状態により異なります)



電源を入れる【電源 ON】

1. 本製品正面の電源ボタンを 1 秒程度押す
   起動画面が表示されたあと、ホーム画面が表示されます。
   (初回起動時には使用許諾画面とアカウント・パスワード登録画面が表示されます)
   パスワードを設定していたり、複数のユーザーで使用している場合は、ロック画面が表示されますので、サインインしてください。サインイン後、ホーム画面が表示されます。

電源を切る【シャットダウン】

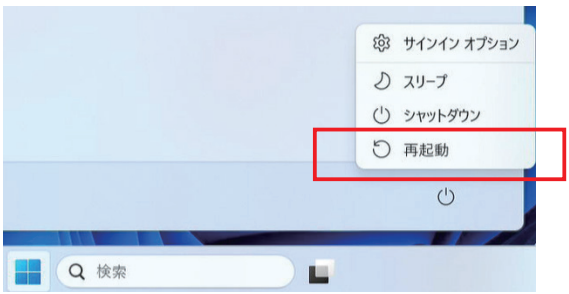
1.「スタート (⊞)」をタップする
2.「電源　(⏻)」-「シャットダウン」をタップする

   シャットダウンが実行され、画面が消灯します。



再起動する

1.「スタート（⊞）」をタップする
2.「電源（⏻）」-「再起動」をタップする



再起動が実行されます。画面が暗くなった後ですぐに起動画面が表示されます。

電源ボタン操作によるタブレットの動作

本製品の電源ボタンは約 1 秒長押しすると動作します。
以下に電源ボタン操作によるタブレットの動作を記載します。

> 注意　出荷時の OS 状態での動作です。OS の設定により動作が異なる場合があります。

本製品の電源の状態	電源ボタン操作	
起動状態	1 秒程度の長押しで スリープに移行	5 秒以上の長押しで 強制シャットダウン
シャットダウン状態	1 秒程度の長押しで起動	
スリープ状態　または ディスプレイの電源を切る	1 秒程度の長押しで スリープ状態から復帰	5 秒以上の長押しで 強制シャットダウン

5 . BIOS 設定画面について

BIOS とは、OS が起動する前の段階で接続された機器やストレージ、CPU やメモリ等の管理や制御を行います。本製品の一部の機能や操作は OS 上では設定できず、BIOS 設定画面での設定が必要となります。
ここでは、BIOS 設定を行う BIOS 設定画面の操作について説明します。BIOS 画面は基本的にキーボードで操作しますので、予めキーボードを接続しておくことをお勧めします。(テンキー付きのキーボードを推奨します)

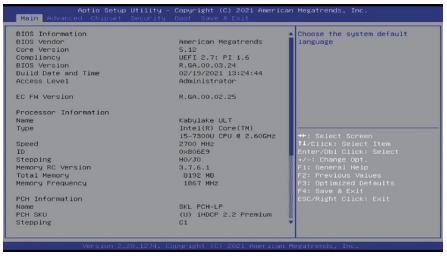
BIOS 設定画面の表示

BIOS 設定画面を表示するには本製品の電源投入直後、または再起動後の操作が必要になります。

①電源投入直後または再起動直後
[Delete] キーを数回押します。

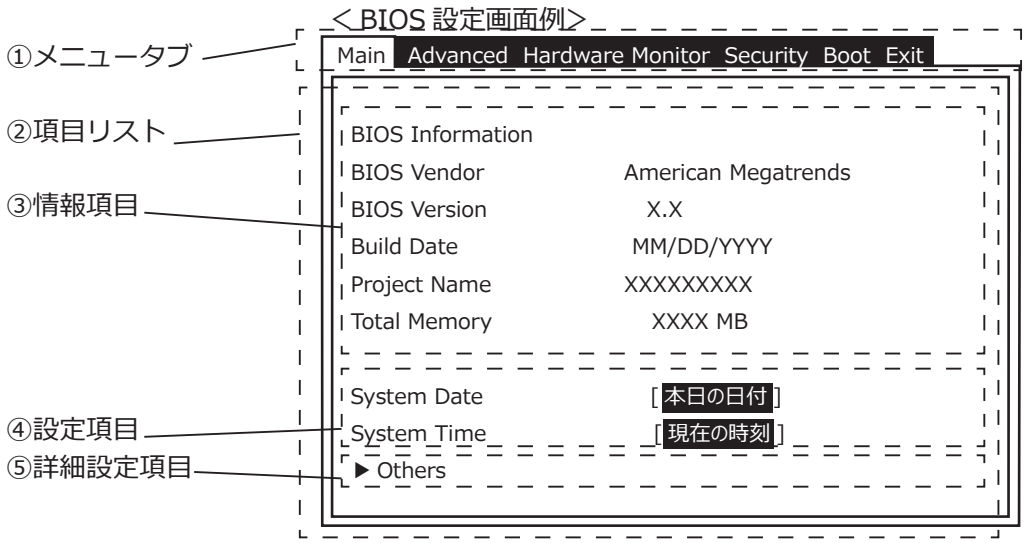


②「Aptio Setup AMI」と表示された画面が表示されれば成功です。但し、キーを押すタイミングによっては BIOS 設定画面が表示されない場合もあります。OS が起動してしまった場合は再起動し、再度①から始めます。



BIOS 設定画面の操作方法

ここでは BIOS 設定画面の操作方法について説明します。



<各項目の説明>

①メニュータブ

そのメニューのトップページ(タブが全て表示されている状態)で [←] キー /[→] キーで左右のメニューに遷移する事ができます。

②項目リスト

選択されたタブの情報項目、設定項目が表示されています。[↑] キー /[↓] キーで項目を移動できます。

③情報項目

黒字で表示されている情報は現在の設定値で、変更はできません。

④設定項目

白字 / 青字で表示されている情報は設定変更が可能な項目です。白字のときはその項目が選択されており、テンキーの [+] キー /[ー] キー (テンキーの無いキーボードの場合は [Shift]+[^] キー /[ー] キーでも操作可能) で値の変更が可能です。

項目によっては [Enter] キーを押すと選択肢が表示されます (選択肢が単一の場合もあります)。[↑] キー /[↓] キーで値を選択し、[Esc] キーを押して値を確定させます。

⑤詳細設定項目

白地 / 青字で冒頭に▶が付いている項目は詳細設定項目で、[Enter] キーを押すと詳細設定画面に移行します。詳細設定画面で [Esc] キーを押すと詳細設定項目が表示されている画面に戻ります。

<注意>

BIOS 設定画面を表示しても、キー入力を受け付けない場合があります。
これは USB キーボードのキー入力回数が多過ぎたためです。しばらく待つか、USB キーボードを挿し直してください。

BIOS 設定の保存・終了

BIOS の設定を変更した場合、設定を保存して再起動するまで設定内容が反映されません。ここでは BIOS 設定の保存方法について説明します。

1. BIOS 設定画面の「Save&Exit」メニューに移動します。
2. 項目リストから「Save Changes and Exit」を選択して [Enter] キーを押します。
3. 確認画面が表示されるので、「Yes」を選択 (黒地に白文字にします) して [Enter] キーを押します。

以上で BIOS 設定内容が保存され、システムが自動的に再起動します。

6．出荷時の状態に戻す（リカバリー）

ここでは本製品を工場出荷時状態に戻す方法を説明します。工場出荷時状態に戻す事が必要な場合は本項に沿って実施してください。 本製品を工場出荷時状態にするには、BIOS 設定とシステムリカバリーの 2 つの操作が必要になります。

<ご注意>

- システムリカバリーは、HDD や SSD 等の内蔵ストレージにインストールされている OS およびその他のデータを削除します。 必要なデータはあらかじめバックアップしますようにお願いします。
  ※パーティション分割していても、内蔵ストレージ全体を消去しますので、ディスク全体のデータのバックアップが必要です。
- 製品に添付のリカバリーディスクは添付されていた機体に対してのみ、リカバリーを実施できます。
- システムリカバリー完了後、必要に応じ Windows Update 等でセキュリティ対策を実施してください。
- カスタム仕様で注文いただいた機種に関しては、搭載されていないハードウェア部品（拡張ボードなど）の記述が含まれている場合があります。また、一部のハードウェア部品には別途ドライバーソフトのインストール、またはアプリケーションソフトのインストールが必要な場合があります。リカバリー後に、付属の製品仕様書やその他の取扱説明書をご確認ください。

■システムリカバリーに必要な機材
・本製品
・リカバリーディスク (本製品付属の物)
・USB キーボード（テンキー付きを推奨）
・USB マウス
・リカバリーディスクの規格に対応した外部供給電源付き USB 光ディスクドライブ (光ディスクドライブを搭載していない機種のみ)
・USB ハブ (上記機器を同時接続する USB ポートが搭載されていない機種のみ)

※上記以外で工場出荷時に接続されていない機器は内蔵機器を含め、全て取り外してください。
※バッテリー駆動が可能なモデルは AC アダプターを接続した状態で実行してください。

BIOS 設定の工場出荷時設定化

購入してから本製品の BIOS 設定を変更したことが無いことが明らかな場合は本項の操作は不要です。次項「リカバリーディスクによるシステムリカバリー」にお進みください。
BIOS 設定には BIOS 設定画面を使用します。操作方法は「5.BIOS 設定画面」を参照ください。

1. 作業に必要な機材のうち、USB キーボードを接続します。
2. BIOS 設定画面を表示させます。
3. BIOS 設定画面の「Save & Exit」メニューの「Restore Defaults」を選択し、[Enter] キーを押します。
4. 確認画面が表示されるので、「Yes」を選択 (白文字に黒背景にします) して [Enter] キーを押します。
5. 「Save Changes and Reset」を選択し、[Enter] キーを押します。
6. 確認画面が表示されるので、「Yes」を選択 (黒地に白文字にします) して [Enter] キーを押します。

リカバリーディスクによるシステムリカバリー

ここでは、ストレージ上の OS を出荷時状態に戻す方法を説明します。

1. システムリカバリーに必要な機材を全て取付けます。
   ※システムリカバリーに必要な機材以外で工場出荷時に接続されていない機器は内蔵機器を含め、全て取り外してください。

2. 本製品の電源を ON にし、光ディスクドライブにリカバリーディスクをセットします。
   ※リカバリーディスクが 2 枚組以上の場合は Disc1/ ○ と記載されたディスクからセットします。

3. OS が起動してる場合は一旦シャットダウンし、再度電源を ON にし、直後に USB キーボードの [F7] キーを起動デバイスの選択画面が表示されるまで数回押します。

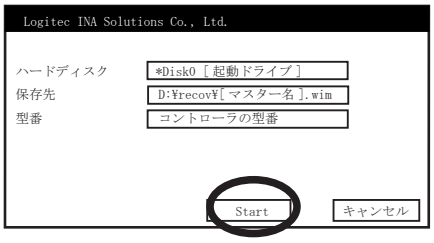
   

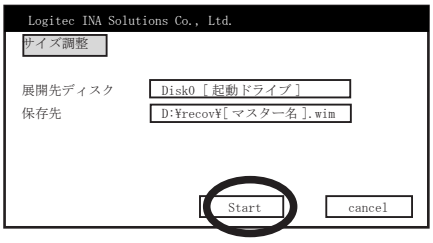
   ※本体内蔵の OS が起動してしまった場合は、OS 上より再起動を実行して 再度本項目より実行します。

4. 起動デバイスの選択画面で USB キーボードの [↑] キー /[↓] キーで光ディスクドライブを選択し、[Enter] キーを押します。
   ※光ディスクドライブが 2 つ表示される場合は、行頭に「UEFI:・・・・」と表示されている方を選択します。

5. リカバリーディスクによる「Press any key to boot from CD or DVD」のメッセージが画面左上に表示されたら、すぐにキーボードの任意のキーを押します。
   ※本体内蔵の OS が起動した場合は、再度 手順 4 から実行します。

6. システム起動後、システムリカバリー画面が表示されるので、マウス操作で [START] ボタンをクリックし、リカバリーを開始します。(リカバリーディスクのバージョンにより画面デザインが異なります。)

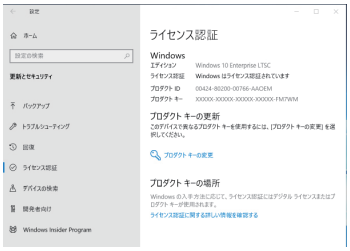


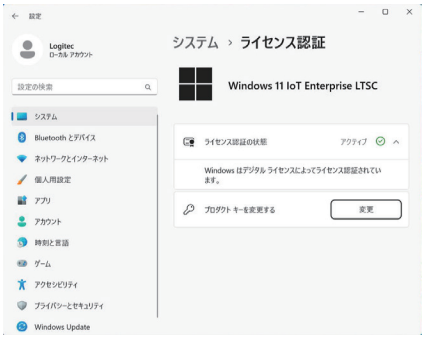


7． OS のアクティベーションを実施します※。Windows が起動している状態で、インターネットに接続します。

※モデルによっては当社出荷時時点ではアクティベーションは実施されておりません。Windows Update のセキュリティ更新等を有効にするためにアクティベーションの実施をお勧めします。

8． インターネットに接続することで、OS のライセンス認証が完了します。
認証状況は　設定＞システム＞ライセンス認証 ＞ライセンス認証の状態 で確認いただけます。





ポイント

- インターネットに接続する事で WindowsUpdate が自動的に動作する場合があります。
- リカバリー途中で停止したり、NG 表示された場合、本製品に何かしらの障害が発生していることが考えられます。出荷時状態以降に取り付けた増設機器があればそれらを取り除き、再度リカバリーをお試しください。
- リカバリー直後の Windows は、機能の一部が制限されている場合があります。機能を有効にするために、2 回ほど再起動してください。
- Windows の起動時、シャットダウン時の背景色について、初回～ 2 回目の起動時及びシャットダウン時において、背景色が変化する場合があります。 この挙動は Windows の仕様上の制約であり、設定が変更されたわけではありません。複数回再起動を実施することで、色が変化し、背景色が元に戻ります。
- インターネットに接続できない場合、あるいはライセンス認証が正常に行えない場合は、「ファイル名を指定して実行」から「slui.exe 4」を実行します。その後、Windows の画面の指示に従ってライセンス認証します。
- その他のアプリケーションでも、ライセンス認証が必要な場合があります。各アプリケーションのマニュアルでご確認ください。

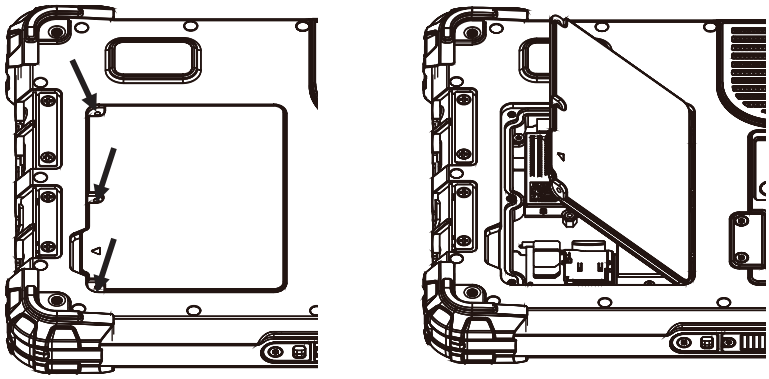
7. その他の機能・設定

Micro SD カードの取り付け

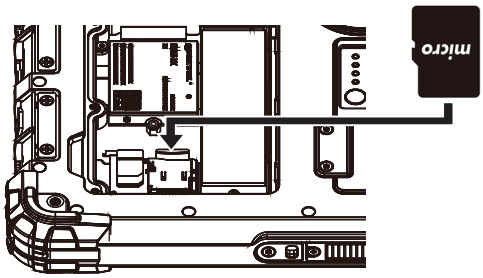
Micro SD カードは本製品のサービスドア内の MicroSD スロットに挿入します。
Micro SD カードは標準サイズ（15mm × 11mm）をご使用ください。

【事前準備】
• プラスドライバー (#0) 1 個 ※お客様にて事前にご準備願います。

1. プラスドライバーでサービスドアのネジを取り外す (3 か所)。



2. 下図の向きに MicroSD カードの向きを合わせ、MicroSD カードスロットに挿入します。

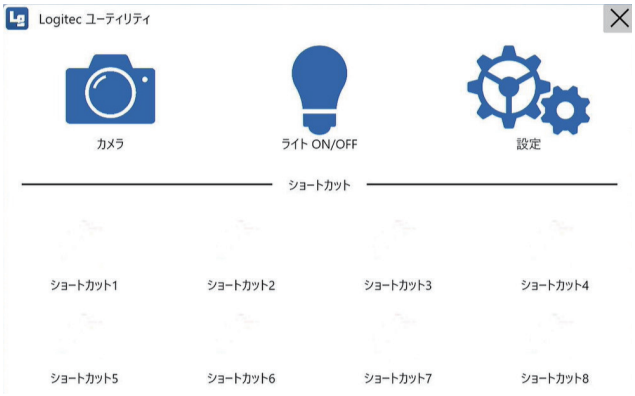


3. サービスドアを取り付け、プラスドライバでネジを取り付けます。(3 箇所)

ロジテックユーティリティ

ロジテックユーティリティとは

ロジテックユーティリティは ZEROSHOCK タブレットに標準インストールされた、汎用ユーティリティソフトウェアです。



「ロジテックユーティリティ」TOP 画面

TOP 画面の起動方法

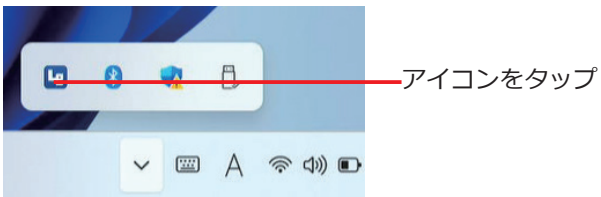
スタートメニューから起動

Windows のスタートメニューの すべて > Logitec> Logitec ユーティリティ アイコンから TOP 画面を呼び出せます。



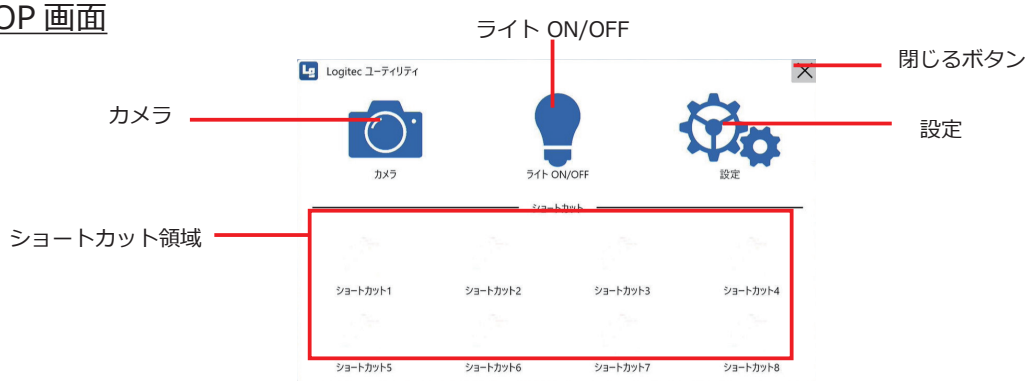
タスクトレー (通知領域) から起動

Windows のタスクバーのタスクトレーのアイコンから TOP 画面を呼び出せます。



各部名称と説明

TOP 画面



TOP 画面詳細

名前	説明
カメラ	ZEROSHOCK camera アプリを起動します。
ライト ON/OFF	カメラライトの ON/OFF ができます。  ライト ON  ライト OFF
設定	以下の各種設定を変更できます。 ・ファンクションボタン ・ショートカット ・タッチパネルモード ・アプリ設定 ・BIOS 設定 ・SIM 設定
ショートカット領域	設定したショートカットボタンが表示されます。(最大 8 個)
閉じるボタン	TOP 画面を閉じます。



ZEROSHOCK camera

ZEROSHOCK camera 画面



ZEROSHOCK camera 機能詳細

名前	説明
カメラ機能設定	以下のカメラ設定を変更できます。 〇カメラ ・シャッター音 シャッター音のオン / オフを切り替えます。 〇フォト ・写真の画質 保存する写真の画質を変更できます。設定できる画質はタブレットの仕様により異なります。 ・保存する写真の反転 オンにした場合、保存する写真を左右反転します。 〇ビデオ ・動画の画質 保存する動画の画質を変更できます。設定できる画質はタブレットの仕様により異なります。 〇関連設定 ・写真とビデオの保存先を変更する 写真とビデオの保存先を変更します。保存先はドライブのみ選択でき、フォルダを自動生成します。
カメラライト機能	ライト (オート):撮影ボタンをタッチすると自動的にカメラライトが点灯し、撮影後に自動的に消灯します。 ライト (オン) : 常時カメラライトが点灯します。 ライト (オフ) : カメラライトを消灯します。
明るさ調整	画像の明るさを調整します。
カメラ切換	フロントカメラとリアカメラを切り換えます。

ZEROSHOCK camera 機能詳細 (続き)

名前	説明
撮影ボタン	撮影とモード切り換えを行います。  フォト撮影モード　　ビデオ撮影モード
プレビュー	前回撮影したファイルを表示します。

設定ーホーム

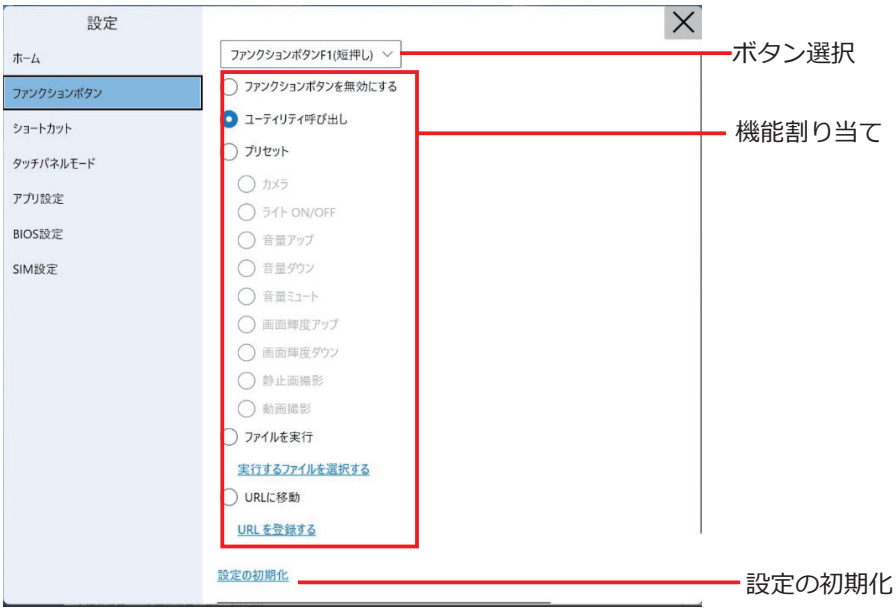
ロジテックユーティリティの基本情報を表示します。



メモ

設定変更は操作ごとに保存されます。設定変更が完了したら閉じるボタンで画面を閉じます。

ファンクションボタン



名前	説明
ボタン選択	機能を割り当てるファンクションボタン(F1,F2,FN、ー, +)を選択します。また、単押し、長押しで異なる機能も割り当てられます。
機能割り当て	ファンクションボタンに以下の機能を割り当てます。 ・ファンクションボタンを無効にする 選択した機能を無効にします。 ・ユーティリティ呼び出し ロジテックユーティリティツールを起動します。 ・プリセット ・カメラ：ZEROSHOCK camera を起動します。 ・ライト ON/OFF：カメラライトを ON/OFF します。 ・音量アップ：音量をアップします。 ・音量ダウン：音量をダウンします。 ・音量ミュート：音量をミュート状態にします。 ・画面輝度アップ：画面輝度をアップします。 ・画面輝度ダウン：画面輝度をダウンします。 ・静止画撮影：静止画を撮影します。 ・動画撮影：動画を撮影します。 ・ファイルを実行：任意のファイル設定し、実行します。設定できるファイルの拡張子は .exe .bat .ps1 .lnk です。 ・URL に移動：設定した URL を Windows の既定の Web ブラウザで開きます。
設定の初期化	全てのファンクションボタンの設定を初期化します。 選択すると、ダイアログが表示され、「はい」を選択すると全てのファンクションボタンの登録が初期化されます。

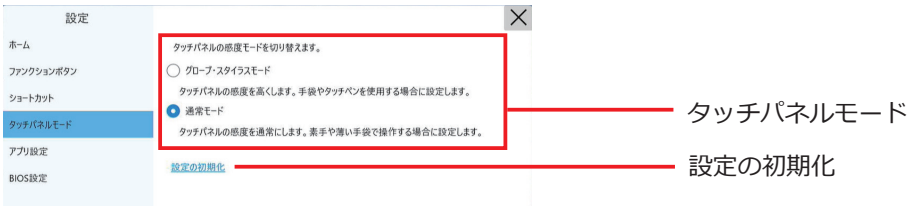
ショートカット



名前	説明
ショートカット選択	機能を割り当てるショートカットを選択します。
機能割り当て	ショートカットに以下の機能を割り当てます。 ・ショートカットを無効にする 選択した機能を無効にします。 ・プリセット ・カメラ：ZEROSHOCK camera を起動します。 ・ライト ON/OFF：カメラライトを ON/OFF します。 ・音量アップ：音量をアップします。 ・音量ダウン：音量をダウンします。 ・音量ミュート：音量をミュート状態にします。 ・画面輝度アップ：画面輝度をアップします。 ・画面輝度ダウン：画面輝度をダウンします。 ・静止画撮影：静止画を撮影します。 ・動画撮影：動画を撮影します。 ・ファイルを実行：任意のファイル設定し、実行します。設定できるファイルの拡張子は .exe .bat .ps1 .lnk です。 ・URL に移動：設定した URL を Windows の既定の Web ブラウザで開きます。
設定の初期化	全てのファンクションボタンの設定を初期化します。 選択すると、ダイアログが表示され、「はい」を選択すると全てのファンクションボタンの登録が初期化されます。

タッチパネルモード

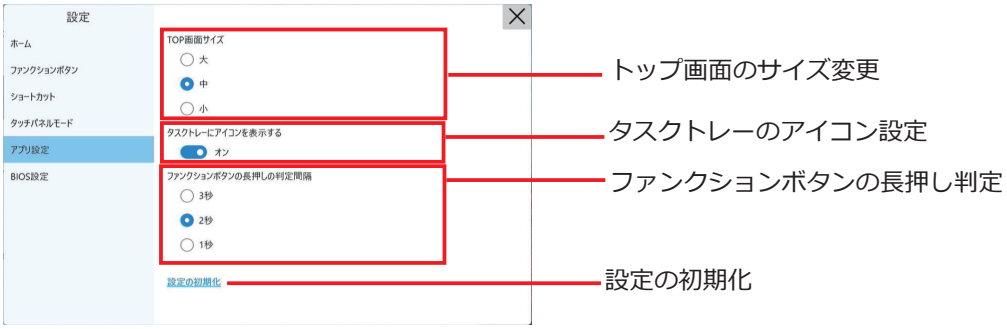
タッチパネルの感度モードを切り替えます。



名前	説明
タッチパネルモード	・グローブ・スタイラスモード　：タッチパネルの感度を高くします。手袋やタッチペンを使用する場合に設定します。 ・通常モード　：タッチパネルの感度を通常にします。素手や薄い手袋で操作する場合に設定します。
設定の初期化	タッチパネルの設定を初期化します。 選択すると、ダイアログが表示され、「はい」を選択すると全てのファンクションボタンの設定が初期化されます。

アプリ設定

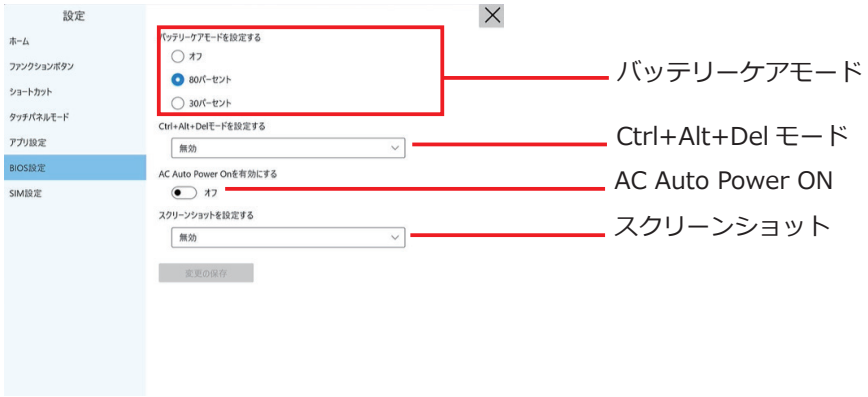
ロジテックユーティリティの設定を変更します。



名前	説明
TOP 画面のサイズ変更	TOP 画面のサイズを大、中、小に変更できます。
タスクトレーのアイコン設定	ロジテックユーティリティのタスクトレーへの表示 / 非表示 (常駐の有無) を設定します。オフに設定した場合、TOP 画面の「閉じるボタン」をタップすると、ロジテックユーティリティの動作が停止します。
ファンクションボタンの長押し判定	ファンクションボタンで長押しと判定される時間を 1 秒、2 秒、3 秒から設定します。
設定の初期化	アプリ設置を初期化します 選択すると、ダイアログが表示され、「はい」を選択すると全てのファンクションボタンの設定が初期化されます。

BIOS 設定

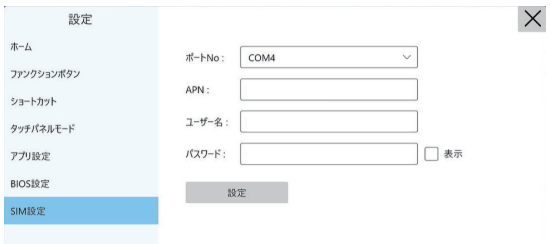
BIOS 設定画面の一部の機能を設定できます。



名前	説明
バッテリーケアモード	バッテリーパックの劣化を防ぐためのバッテリーケアモードを設定します。 ・オフ　：バッテリーケアモードを設定しません。 ・80%　：バッテリーの最大充電を 80% に設定します。 ・30%　：バッテリーの最大充電を 30% に設定します。 ※バッテリーケアモードの詳細は、p24「バッテリー保護機能 (バッテリーケアモード)」を参照してください。
Ctrl+Alt+Del モード	ファンクションボタンに Ctrl+Alt + Del キー押下と同じ機能を設定します。
AC Auto Power ON	この設定をオンにすると、外部電源供給時に自動的に本体の電源がオンになります。
スクリーンショット	ファンクションボタンにスクリーンショット機能を設定します。
設定の保存	本画面で設定した内容を有効にする場合にクリックします。設定を有効にするには再起動が必要となります。ダイアログが表示され、「はい」を選択すると再起動が実行されます。

SIM 設定

LTE 設定画面の一部の機能を設定できます。一部キャリアの SIM カードはご利用の前に設定の変更が必要な場合があります。登録する各情報は SIM カード契約時の各キャリアの書類をご参照下さい。



名前	説明
ポート No	LTE モジュールが使用している COM ポートのポート番号を設定します。通常は COM4 に設定されていますが、周辺機器等の都合で LTE モジュールのポート番号が変更されている場合は、ここで設定します。
APN	使用する SIM カードのキャリアの接続先情報を登録します。
ユーザ名	使用する SIM カードのキャリアのユーザ名を登録します。
パスワード	使用する SIM カードのキャリアのパスワードを登録します。
設定	設定した内容を適用します。

BIOS 設定画面で設定できる機能

本製品では BIOS 設定画面での設定変更により、以下の機能を使用することができます。
設定の変更手順を以下に示します。BIOS 設定画面の操作方法については「5．BIOS 設定画面について」を参照ください。

設定と機能

名前	詳細項目	値	説明
AC Auto Power On	“Advanced” > “Oem Items” >	Enabled	タブレットがシャットダウン状態の時に外部電源を供給すると、タブレットが自動的に起動します。
		Disabled (初期設定)	タブレットがシャットダウン状態の時に外部電源を供給してもタブレットは起動しません。
Battery care mode	“Advanced” > “Oem Items” >	Disabled	バッテリーケアモードを無効にし、バッテリーの最大充電容量を 100% にします。
		Enabled (初期設定)	バッテリーケアモードを有効にします。
battery capacity	“Advanced” > “Oem Items” >	Battery care mode が Enabled の場合に設定可能です。Battery care mode のバッテリ容量制限値を設定します。	
		80% (初期設定)	バッテリーの最大充電容量を 80% に制限し、バッテリーの劣化を抑制します。
		30%	バッテリーの最大充電容量を 30% に制限し、バッテリーの劣化を抑制します。
Ctrl + Alt + Del mode	“Advanced” > “Oem Items” > ※	Disabled (初期設定)	Ctrl + Alt + Del キーの割り当ては行いません。
		F1	F1 ボタンに Ctrl + Alt + Del キーを割り当てます。
		F2	F2 ボタンに Ctrl + Alt + Del キーを割り当てます。
		FN	FN ボタンに Ctrl + Alt + Del キーを割り当てます。
		+	ボリュームボタンーに Ctrl + Alt + Del キーを割り当てます。
		-	ボリュームボタン + に Ctrl + Alt + Del キーを割り当てます。
GNSS State	“Advanced” > “Oem Items” >	Disabled	本製品の衛星位置情報測位機能を無効にします。
		Enabled (初期設定)	本製品の衛星位置情報測位機能を有効にします。
Front Camera	“Advanced” > “Oem Items” >	Disabled	フロントカメラの機能を無効にします。
		Enabled (初期設定)	フロントカメラの機能を有効にします。
Rear Camera	“Advanced” > “Oem Items” >	Disabled	リアカメラの機能を無効にします。
		Enabled (初期設定)	リアカメラの機能を有効にします

※同じファンクションボタンに「Logitec ユーティリティ」「Ctrl + Alt + Del mode」「バーコードリーダー」「スクリーンショット」の機能を割り当てた場合、以下の優先順位となり、下位の機能は使用できません。

バーコードリーダー > Ctrl+Alt+Del > スクリーンショット > Logitec ユーティリティ

設定と機能

名前	詳細項目	値	説明
Barcode Key	“Boot” > “Barcode Configuration” > ※	Disabled (初期設定)	バーコードリーダー機能 (オプション) を無効にします。
		F1	ファンクションボタン F1 に “ スキャンボタン “ を設定します。
		F2	ファンクションボタン F2 に “ スキャンボタン “ を設定します。
		FN	ファンクションボタン FN に “ スキャンボタン “ を設定します。
		+	ボリュームボタン+ に “ スキャンボタン “ を設定します。
		-	ボリュームボタンー に “ スキャンボタン “ を設定します。
Barcode Mode	“Boot” >” Barcode Configuration”	Manual mode (初期設定)	設定したファンクションボタンを押している間 “ スキャン ON” となります。ボタンを離すまたはバーコードが読み取れた場合 “ スキャン OFF” となります
		Auto mode	設定したファンクションボタンを 1 度押すと “ スキャン ON” となります。30 秒バーコードを読み取れなかった場合またはバーコードが読み取れた場合 “ スキャン OFF” となります。
SD Card	“Advanced” > “Oem Items” >	Enabled (初期設定)	内蔵の SD カードリーダー・ライターを有効にします。
		Disabled	内蔵の SD カードリーダー・ライターを無効にします。
Wi-Fi/BT	“Advanced” > “Oem Items” >	Enabled (初期設定)	Wi-Fi、Bluetooth 機能を有効にします。
		Disabled	Wi-Fi、Bluetooth 機能を無効にします。

※同じファンクションボタンに「Logitec ユーティリティ」「Ctrl + Alt + Del mode」「バーコードリーダー」「スクリーンショット」の機能を割り当てた場合、以下の優先順位となり、下位の機能は使用できません。

バーコードリーダー > Ctrl+Alt+Del > スクリーンショット > Logitec ユーティリティ

設定と機能

名前	詳細項目	値	説明
Type-A USB	“Advanced” > “Oem Items” >	Enabled (初期設定)	タブレット PC 本体の Type-A USB ポートを有効にします。
		Disabled	タブレット PC 本体の Type-A USB ポートを無効にします。
Type-C USB	“Advanced” > “Oem Items” >	Enabled (初期設定)	タブレット PC 本体の Type-C USB ポートを有効にします。
		Disabled	タブレット PC 本体の Type-C USB ポートを無効にします。
Docking USB	“Advanced” > “Oem Items” >	Enabled (初期設定)	クレードル接続時、クレードルに搭載した USB ポートを有効にします。
		Disabled	タクレードル接続時、クレードルに搭載した USB ポートを無効にします。
Show Post Logo	“Advanced” > “Oem Items” >	Enabled (初期設定)	起動時のロゴの表示を有効にします。
		Disabled	起動時のロゴの表示を無効にします。
Screenshot	“Advanced” > “Oem Items” > ※	Disabled (初期設定)	ファンクションボタンによるスクリーンショット機能を無効にします。
		F1	ファンクションボタン F1 に “ スクリーンショット機能 “ を設定します。
		F2	ファンクションボタン F2 に “ スクリーンショット機能 “ を設定します。
		FN	ファンクションボタン FN に “ スクリーンショット機能 “ を設定します。
		+	ボリュームボタン+ に “ スクリーンショット機能 “ を設定します。
		-	ボリュームボタンー に “ スクリーンショット機能 “ を設定します。
Hotswap Battery	“Advanced” > “Oem Items” >	Enabled (初期設定)	バッテリーのホットスワップ機能を有効にします
		Disabled	バッテリーのホットスワップ機能を無効にします
FAN	“Advanced” > “Oem Items” >	Enabled (初期設定)	内蔵冷却ファンを有効にします
		Disabled	内蔵冷却ファンを無効にします

※同じファンクションボタンに「Logitec ユーティリティ」「Ctrl + Alt + Del mode」「バーコードリーダー」「スクリーンショット」の機能を割り当てた場合、以下の優先順位となり、下位の機能は使用できません。

バーコードリーダー > Ctrl+Alt+Del > スクリーンショット > Logitec ユーティリティ

8. トラブルシューティング

問題	対応
バッテリーが充電されない	・AC アダプターが正しく接続されていることを確認してください。 ・環境温度が充電時動作環境温度（0℃～ 40℃）外の場合は、充電制限中になっています。本製品を常温環境に置き、本製品の電源を切る（シャットダウンする）するか、高負荷な状態になる作業を停止してください。
画面が表示されない	・本製品がスリープ状態になっている可能性があります。電源ボタンを押し画面が表示されるか確認してください。 ・画面の輝度が低くなっている可能性があります。輝度をあげてみてください。
画面が突然消え、電源ランプも消灯した	・本製品をバッテリーで使用している場合、バッテリーが切れた可能性があります。バッテリーを充電してください。
ワイヤレス LAN の電波が弱い	・電波の範囲外の可能性があります。本製品をルーターなど接続する機器の近くに移動させて確認してください。 ・本製品の近くや、接続したい機器の近くに、電子レンジやケーブルレスホンなど、ワイヤレス LAN の電波と干渉する機器が無いか確認してください。それらの機器があった場合は、本製品やワイヤレス LAN 機器から、それらの機器を離してください。
他のワイヤレス LAN 機器に接続できない	・本製品のワイヤレス LAN 機能がオンになっているか確認してください。 ・ネットワーク内のすべてのワイヤレス LAN 機器で、SSID の設定が同じであることを確認してください。 ・本製品を再起動してみてください。 ・IP アドレスやサブネットマスクなどネットワークの設定が正しく設定されているか確認してください。
Bluetooth で他の機器に接続できない	・本製品と接続先の機器の両方の Bluetooth 機能がオンになっていることを確認してください。 ・本製品と接続先の機器の両方の電源が入っていて、かつ、検出可能になっていることを確認してください。 ・接続先の機器と本製品の距離が 10m 以内であることを確認してください。また、間に壁や大きな障害物が無いことを確認してください。 ・本製品と接続先の機器に互換性があることを確認してください。
GPS を使用するアプリケーションで位置情報が取得できない	・GPS のカバーエリア外の可能性があります。屋外や、窓の近くに移動してみてください。 ・本製品の近くや、接続したい機器の近くに、電子レンジやコードレスホンなど、GPS の電波と干渉する機器が無いか確認してください。それらの機器があった場合は、本製品をそれらの機器から離してください。
音が出ない	・音量ボタンで、本製品の音量を調整してみてください。 ・外部のオーディオ機器を使用している場合は、正しく配線されているか確認してください。

※ USB Type-C and USB-C are trademarks of USB Implementers Forum
※ Windows はマイクロソフト企業グループの商標です。
※その他、本書に記載されている商品名 / 社名などは一般に商標ならびに登録商標です。

Logitec 堅牢タブレット・ユーザーズマニュアル
2026 年 11 月 第 1 版 ユーザーズマニュアル LZ-WF08 Manual V01
製造元：ロジテック INA ソリューションズ株式会社

66003243 ユーザーズマニュアル LZ-WF08_SERIES Manual V01